

全ての子育て中のお母さん・お父さんへの子育て情報リーフレット

# 子育てと幼児教育

令和3年10月号 制作：天使幼稚園

## 今回のテーマ：子どもが遊ぶ基本は自由であること

今年はまだまだ残暑が続きますが、空気はすっかり秋めいてきました。この時期、子どもたちを公園に連れていき遊ばせることも多いかと思えます。入園前の幼児ですと、まだまだ親の目が離せないこともあります。是非、お子さんと一緒に公園に行ってみてください。

### 公園遊びで子どもが得られるものとは

公園では身体を動かして遊ぶことが多いため、普段では使わない筋肉を使うことが多くあります。家では触れることのない滑り台やジャングルジム、ブランコなど大きな遊具で遊ぶことができます。そうした遊び方が子どもの体幹を鍛え、バランス感覚を養います。また、身体だけではなく空間認識力などの知力も養ってくれます。

幼児の大好きな砂場遊びは、子どもの想像力を大きく伸ばしてくれます。砂場で食べ物をつくったり、山をつくったり、そこにトンネルを掘ったりなど、ストーリーを組み立ててイメージを具現化するのに砂場はピッタリだからです。

また、そんな砂場では知らない子

ども同士で意気投合し、一緒に遊び始めることも珍しくありません。自分以外の人間とのコミュニケーションを学ぶ良い機会となります。もちろん、時にはケンカをすることもあります。しかしそれも経験です。仲直りする過程で、問題を解決することを子どもながらに学んでいくことができるのです。

### 公園では子どもの自由に遊ばせることが基本

公園では子どもが自由に遊べるようにしましょう。遊具や砂場など、様々な成長の場があると思うと、親としてはつつい色々な遊びをさせ

たくなってしまうものです。しかし、そこはぐっと我慢して、子どもの好きなように遊ばせてください。好きこそもののので、子どもの興味のある遊び方をさせてこそ、様々な力がついて行きます。

また、「危ない」とか「汚い」といっては子どもの遊びを制限させることもNGです。危険な行為まで放任するという事ではなく、サポートが必要なら積極的にサポートするけど、基本は子どもを見守るという姿勢が大切です。また、子どもと一緒に遊ぶことも大事なことです。子どもが一生懸命遊んでいるときは、泥だらけ埃だらけになっています。汚れてもいい服装などで、思いっきり遊ばせてあげましょう。(了)

